

令和7年度 大学生災害ボランティア派遣 実施報告

神奈川県政策局
いのち・未来戦略本部室

派遣概要

能登半島 穴水町 千手院『地域の復興の灯となる被災廃寺の復興プロジェクト』



日時：令和8年3月26～27日

場所：石川県鳳珠郡穴水町曾良

<スケジュール>

1日目

- 12:00 現地でNPOと合流
- 13:00 ボランティア開始
- 17:00 現地の人との夕食準備・
夕食・懇談
- 20:00 金沢大学学生・先生との
ディスカッション
- 23:00 就寝

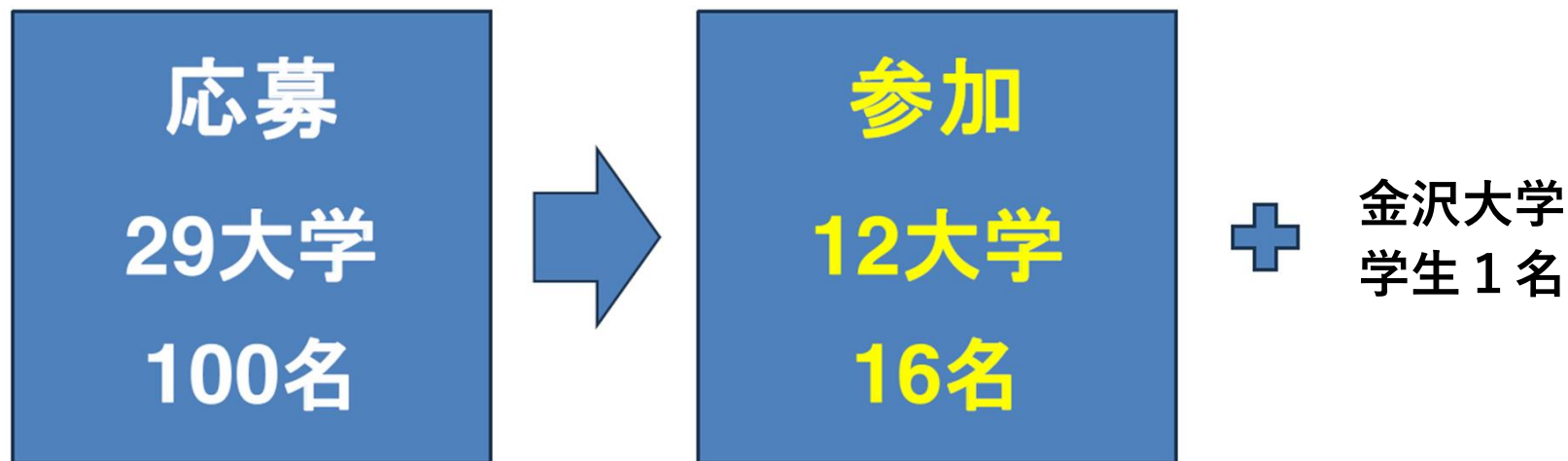
2日目

- 7:00 起床
- 8:00 ボランティア開始
- 12:00 現地出発

参加学生について

100名の申込者の中から選考を行い、1年生から4年生までの
大学生**16名**を派遣（神奈川・東京の各大学から）

令和8年3月 大学生の災害ボランティア実証



・慶應義塾大学・早稲田大学・明治大学・立教大学・中央大学・青山学院大学・北里大学
・昭和女子大学・静岡大学・東洋大学・学習院大学・山形大学・亜細亜大学・國學院大學
・東海大学・東京都立大学・札幌大学・新潟大学・東京工芸大学・専修大学・神奈川大学
・神奈川工科大学・桐蔭横浜大学・日本大学・東京都市大学・東京工科大学
・芝浦工業大学・武蔵野大学・ビューティ&ウェルネス専門職大学

当日の様子①

被災を受けた寺院の修復活動や清掃活動を実施

< 軒下に溜まった土砂の清掃 >



< 畳の張替え作業 >



当日の様子②



地域住民の方との交流を行い、
震災当時の様子について
ヒアリングを実施しました



金沢大学の先生より、能登の地域課題
や復興状況についてオンラインにて、
ご講義をいただきました

参加した大学生に実施したアンケート結果（抜粋）

- 被災直後ではないタイミングなどでは、傾聴やサポートが望まれており、**短期の活動でも価値がある**と感じた。
- 学生は体力的にも精神的にも被災者の助けとなることができるが少人数では限界がある。**学生同士のコミュニティで活動を広めることが大切**だと思う。
- 大学生ボランティアに**地域が求めている役割は「人手」と「心の支え」**の両方であると感じた。
- 非常に恐ろしい被災体験を話していただいたが、聞く我々だけでなく、**話し手にとっても重要なこと**だと思った。

